

問1 多数決によって物事を決定する際、民主主義の理念に基づいて尊重されるべき正しい手続きや態度はどれですか。（2021年 徳島公立 入試 類似）

1. 結論を急ぐため、議論を省略して速やかに多数派の意見を採択する
2. 多数派の意見が常に正しいと判断し、少数派の意見を一切考慮せずに決定する
3. 採決の前に十分な議論を尽くし、少数派の意見も可能な限り取り入れるよう努める
4. 一度多数決で決まったことには、その後の社会情勢の変化があっても修正を認めない

問2 情報化の進展について述べた記述において、情報通信技術（ICT）の利便性が向上する一方で、私たちが「情報リテラシー」を身に付けることが強く求められている理由として、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 膨大な情報の中から、内容の真偽を判断し、目的を達成するために情報を主体的に扱う必要があるから
2. テレビや新聞などのマスメディアが提供する情報を、批判を加えずにすべて事実として受け入れる必要があるから
3. 情報の取捨選択をすべて人工知能（AI）に任せると、人間の判断ミスを完全になくす必要があるから
4. インターネット上の情報を制限し、特定の公的機関が発信する情報だけを共有する社会を作る必要があるから

問3 近代の民主政治に影響を与えた思想家のうち、モンテスキューの主張と著書の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 『市民政府二論（統治二論）』を著し、政府が国民の信頼に背いた場合の抵抗権を認めた。
2. 『社会契約論』を著し、人々の合意に基づく「一般意志」に従う政治を主張した。
3. 『法の本質』を著し、国家権力を立法・行政・司法に分ける必要性を説いた。
4. 『権利章典』を著し、国王といえども法に従わなければならないという原則を示した。

問4 有権者が考慮した政策課題に関する統計において、20代から30代の現役世代の約42.2パーセントが「子育て・教育」を重視する課題の第2位に挙げています。このような若い世代のニーズに応え、仕事上の責任を果たしつつ家庭生活を充実させるために、社会全体で実現が図られている取り組みはどれですか。（2018年 奈良公立入試 類似）

1. 老後の所得を支えるための公的年金制度の拡充
2. 労働力不足を解消するための非正規雇用のさらなる拡大
3. 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの推進
4. 経済成長を最優先した長時間労働による生産額の増加

問5 かつての絶対王政のもとでは、国王が法に縛られず権力を振るっていましたが、近代以降は「憲法によって国家権力を制限し、国民の自由と権利を守る」という考え方が主流となりました。この考え方を何といいますか。（2021年 三重公立入試 類似）

1. 社会保障
2. 立憲主義
3. 国権の最高機関
4. 中央集権

問6 高齢者の社会参加と意識に関する調査において、地域でのボランティアなどの「自主的な活動」に参加している高齢者のうち、「生きがいを感じている」と答えた人の割合は約75%にのぼります。一方、活動に参加していない人で「生きがいを感じている」と答えた人は約38%にとどまっているという統計があります。この結果から読み取れる、高齢者の生活に関する傾向として最も適切なものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 自主的な活動に参加することによって、地域での役割やつながりが生まれ、自身の生活に生きがいを感じる傾向が強まる。
2. 自主的な活動に参加しても、個人の心理的な充足感や生きがいに与える影響はほとんど見られない。
3. 活動に参加していない高齢者の方が、自由な時間を確保できるため、生きがいを感じている人の割合が高い。
4. 高齢者の生きがいの有無は、個人の性格や健康状態のみに依存しており、社会活動への参加状況は関係しない。

問7 クラスで新しい清掃計画を作成することになりました。この際、清掃を早く終わらせるために最適な人数配置を検討する「効率」の視点とは別に、「公正」の視点から配慮すべき事項として、適切なものを次から選びなさい。（2020年 鳥取公立入試 類似）

1. 特定の班や生徒だけに、他の生徒より明らかに重い清掃箇所が割り当てられていないかを確認する。
2. 清掃用具の購入費用を最小限に抑えるために、古い道具を使い続ける計画にする。
3. 話し合いの時間を短縮するために、学級委員が作成した案をそのまま全員の合意とする。
4. 最も清掃が得意な生徒一人に、教室全体の清掃をすべて任せることで効率を高める。

問8 一九二〇年から二〇六〇年までの日本の人口推移をまとめた統計資料において、生産年齢人口が減少に転じている背景と、その状況が社会に与える影響について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2026年 沖縄公立入試 類似）

1. 少子高齢化の進展により、働く世代が減少することで、社会保障の担い手不足や経済活力の低下が懸念されている。
2. 平均寿命の延伸によって総人口が増加したため、食料自給率の低下が深刻な問題となっている。
3. 年少人口が急速に増加した結果、義務教育にかかる公費負担が国家予算を圧迫する要因となっている。
4. 老年人口が増加傾向にあるため、介護施設や医療サービスの需要が縮小し、サービス業の衰退を招いている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 3</b> 採決の前に十分な議論を尽くし、少数派の意見も可能な限り取り入れるよう努める	多数決の原理は、多数派が自分たちの都合だけで物事を決めてよいという「多数者の専制」を認めるものではありません。決定に至るまでのプロセスで「少数意見の尊重」を欠かさないことが、民主的な意思決定において極めて重要です。
問2	<b>答え 1</b> 膨大な情報の中から、内容の真偽を判断し、目的を達成するために情報を主体的に扱う必要があるから	ICTの発展により、私たちは場所や時間を問わず大量の情報にアクセスできるようになりました。しかし、発信者が不明確な情報や偏った意見も混在しているため、受け手がそれらを批判的に検討し、自分自身で適切に判断・活用する姿勢が、民主主義社会を支える市民に不可欠な資質となっています。
問3	<b>答え 3</b> 『法の精神』を著し、国家権力を立法・行政・司法に分ける必要性を説いた。	モンテスキューの代表的な著書は『法の精神』であり、その中で三権分立を体系化しました。ロックは『市民政府二論』で抵抗権を、ルソーは『社会契約論』で人民主権の原理を説いており、モンテスキューの三権分立の思想とあわせて、これらは近代市民革命の理論的支柱となりました。
問4	<b>答え 3</b> 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの推進	20代・30代といった現役世代は、仕事でのキャリア形成と子育ての時期が重なることが多く、これらを両立できる環境への関心が非常に高くなっています。そのため、育児休業制度の整備や短時間勤務制度の導入など、私生活を大切にしながら働き続けられる仕組みづくりが、現代社会の重要な政策課題となっています。
問5	<b>答え 2</b> 立憲主義	絶対王政のように権力が一人に集中すると、個人の自由が不当に侵害される恐れがあります。そこで、憲法という最高法規によってあらかじめ権力の行使に枠組みを設け、国民の基本的人権を確実に保障しようとする仕組みが成立しました。
問6	<b>答え 1</b> 自主的な活動に参加することによって、地域での役割やつながりが生まれ、自身の生活に生きがいを感じる傾向が強まる。	ボランティアなどの自主的な活動に参加している高齢者は、参加していない高齢者に比べて、生きがいを感じている割合が2倍近く高いというデータに基づいています。これは、社会との関わりを持つことが、自己の存在意義や精神的な充実感（生きがい）につながっていることを示しています。現代の少子高齢社会において、高齢者が「支えられる側」だけでなく「社会を支える側」として活動することは、生活の質（QOL）を高める重要な要素となっています。
問7	<b>答え 1</b> 特定の班や生徒だけに、他の生徒より明らかに重い清掃箇所が割り当てられていないかを確認する。	公正の視点では、負担の分担が公平であるかどうかが重要視されます。特定の人に不当な負担が偏ることは、合意形成における「公正」を欠く状態です。また、時間短縮（効率）を優先して話し合いの機会を奪うことも、手続きの公正に反することになります。
問8	<b>答え 1</b> 少子高齢化の進展により、働く世代が減少することで、社会保障の担い手不足や経済活力の低下が懸念されている。	現代の日本では、出生率の低下（少子化）と平均寿命の延伸（高齢化）が同時に進む「少子高齢化」により、人口構成が大きく変化しています。特に、一九九〇年代半ばから減少している生産年齢人口は、年金や医療などの社会保障を支える側であるため、その減少は現役世代一人あたりの負担増加や、国内の労働力不足といった深刻な問題に直結します。